

学校だより

はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校

平成29年12月1日発行

学校教育目標

自ら学び たくましく 心豊かな 児童の育成

12月

URL <http://www.shinmaizuru.maizuru.ed.jp>

人の大切さを認める

～ 人権旬間に ～

学校前の歩道で、サクラの落ち葉が寒風に舞う季節がやってきました。早寝で十分な睡眠をとるとともに朝ご飯を食べて、カゼをひかないよう体調管理に努めたいものです。

11月も、校内マラソン大会や校内音楽会と大きな行事が目白押しでした。マラソン大会は、好天の下、自分との闘いに精一杯頑張る姿が見られました。互いに励まし合う、うれしい姿も見られ、収穫の多い大会となりました。また、音楽会は、ひまわり学級の太鼓演奏をはじめ、どの学年も昨年よりも成長した姿を見ていただくことができました。1年生も、曲名のとおり聴き手が元気になるような発表で、好評を博しました。全体的に、学級や学年が一つにまとまり、聴きごたえのある発表ができていたこと、発表者のよさを感じ取ろうとする聴き手の態度がよかったことが、大きな成果であったと思います。いずれの行事も、お忙しい中、大勢の保護者や地域の皆様にお越しいただき、子どもたちに温かい声援や大きな拍手を送っていただきました。厚くお礼申し上げます。

さて、本校では、11月29日の人権集会を皮切りに、12月14日までを人権旬間とし、人権学習をはじめとする様々な取組を進めています。その目的は、次のとおりです。

- ◇ 身の回りの問題を通して、基本的人権や同和問題等様々な人権問題に対する認識を深めるとともに、人権意識の高揚に努め、人権を尊重する態度や実践力を養う。
- ◇ 互いの価値観や個性の違いを認め、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めようとする態度を養う。

先日の参観日には、各学級で人権学習を公開しました。授業で取り上げたお話と似たようなことが身近に起こっていないか、起こったときに自分はどのような態度を取るのか、子どもたちは真剣に考えていました。また、どの子どもにとっても居心地のよい学級になっているか、を見直す学習もありました。自分はどうか、友達はどうか、改めてふり返ることで、これからの取組が見えてきたようです。いじめ対策強化月間に引き続き、人権旬間での取組を通して、新舞鶴っ子に人権尊重の気風をより深く築いていきたいと思えます。

この人権旬間に、全校で「Smile Again スマイル アゲイン 作詞・作曲中山真理」という歌を歌っています。その歌詞に次のようなくだりがあります。子どもたちは生活の中で、時にはこんなつらい思いをすることがあります。それでも、明日は来ると信じ、前を向いていこう、という応援歌のように思えます。ただ、自分の力だけでは、なかなか前を向く勇気が湧いてこないことがあります。そんな時は、家族や先生、友達がそっと背中を押してくれるとうれしいものです。だから、「自分の大切さとともに他の人の大切さ」をよく理解して行動できる新舞鶴っ子を保護者や地域の皆様と一緒に育てていきたいと強く強く思っています。



もう二度と心から笑えなくなるんじゃないかと怖くなるくらい悲しくなることがあるよね。明日になって空が晴れたら自分を好きになって、また歩き始めようよ。

校長 立山 美都子

